

講座名	野外講座県内「房総最南端の野島崎灯台へ」		
開催日時	2024年1月31日(水) 8時 ~16時30分		
開催場所	千葉県館山市畑・南房総市白浜町白浜	一般参加者	22名

活動概要

最初に海底地すべり断層を観察した。能登半島で地震が起きたばかりなので、参加者はかなりの関心を示した。断層は草が生えたりして不鮮明なところがあったが、迫力満点であった。この付近は道路工事等により攪乱されてところがあり、先駆種のオオバヤシャブシがかなり生育していたので観察した。開花間近かの雄花は緑色でふっくらとしていた。舗装してある林道に入ると左は谷で下の方を小川が流れている。右側が切割になっていて、シダが多数生育している。薄暗いがところどころに



日が差し込み、ほとんど無風なので寒さを感じない。ヘラシダが一番多くの場所で見られた。圧巻はやや北向きの切割に群生する大型の暖地性のハチジョウカグマ。切割から垂れ下がっていた。5月下旬には淡赤褐色の新葉が見られる。お目玉の2つめはナチシダである。清澄に行けば多数みられるが、これまで南部では見られなかった。一昨年の11月に下見をしたときには数株生育していたが、今日はあちこちで見られ増殖しているようである。葉が大きく、葉面が五角形なのでわかりやすい。オリヅルシダも多数みられた。光沢のある葉が特徴的である。株を良く観察すると

茎の先端が蔓を出し、小苗をつけていた。また地面に接したところで根を出しているのを観察した。

午後は点々とあるお花畑でキンセンカ、アブラナ、ソラマメ畑を見て、さらに道端にあるハチジョウススキを観察。葉が広く、葉縁に鋸歯が無く触っても痛くない。ベランダ園芸の花も歩きながら観察した。ポインセチア、ゴクラクチョウカ、ヒメキンギョ



ソウ、ストック、スイセンなど。海岸では早くもハマダイコンが開花していた。薄紫の

4月になると同様な花をつける。あいにく伊豆大島は見えなかったが、大きく水平線が弧を描くのが見ることができ、地球を観察することができた。海は群青色で温かい感じであった。

F I C 講師

チーフ：諏訪、スタッフ：片山、和波、坂本、長岡